



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業として持続可能な社会構築に取り組む～

環境大臣

伊藤 信太郎 殿

令和6年9月1日

ワタミ株式会社
代表取締役会長兼 社長 CEO

渡邊美樹

「美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していく」

ワタミグループは、事業活動（外食事業・宅食事業・食品製造事業・農業・環境事業・人材サービス業）において持続可能な社会構築を実現するために、ワタミモデルを推進し、環境法令遵守および環境負荷の低減を図ります。また、SDGsを本業の中で実践し、エコ・ファーストの約束を達成します。

1 脱炭素社会の実現に向け、省エネ・再生可能エネルギーの導入により温室効果ガス排出削減を推進し、更に森林再生・有機農業の拡大によるCO₂吸収により、2050年までにカーボンニュートラルを実現します。



- 国際的イニシアティブ「RE100」に加盟し、2040年までに事業活動における使用電力を100%再生可能エネルギーにします。
 - ・食品製造工場、外食事業店舗、宅食事業営業所、本社事務所等再生可能エネルギーの導入を推進します。
- すべての施設のノンフロン化や省エネルギー活動に努め、事業活動におけるCO₂排出を削減します。
 - ・2030年までに物流トラックにFC（水素）トラックを導入します。
- 有機農業を拡大し、CO₂削減効果拡大を図ります。
- 陸前高田市との連携協定による森林事業の推進により、J-クレジットを創出し、CO₂のオフセットに活用します。
- サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量を算定し（Scope 1.2.3）、2029年までにSBT認証を取得し、それに沿った具体的な対策を講じ、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

2 循環型社会の実現に向け、廃棄物の発生抑制と資源循環を推進し、循環経済（サーキュラーエコノミー）を達成します。



- 食品ロス削減及び食品再生資源のリサイクルを適正かつ積極的に推進します。
 - ・2030年までに外食事業、食品製造事業から排出する食品再生資源の発生抑制を推進し、2023年度比30%削減を目標とします。
 - ・発生した食品再生資源を、各地域のリサイクル事業者・生産者と連携し、食品リサイクルループを構築し、新たに5件の再生利用事業計画の認定を取得します。
 - ・食品リサイクルを推進し、外食事業（直営）では70%、食品製造事業では100%の再生利用等実施率を達成します。
- 事業活動で使用する容器の脱プラスチック及びプラスチック容器回収リサイクルを推進します。
 - ・2030年までに外食テイクアウト容器、冷凍惣菜容器のプラスチック以外の代替素材容器への切り替えを進めます。
 - ・宅食弁当容器の「使用済み容器リサイクルループ」の回収率を2030年度までに回収率80%を目標にし、脱炭素社会に貢献し、海洋プラスチック汚染を防止します。
- 自社オリジナル日本酒のリターナブルビンのリユースを継続します。

3 自然共生社会の実現に向け、ネイチャーポジティブを本業を通して推進し、生物多様性保全活動を推進します。



- 有機農業に取り組むことで、土壌を保全し生態系を守ります。
 - ・2030年までに有機農場を1,000haへ拡大し、生物多様性保全に貢献する環境配慮型農業で生産した有機農畜産加工品の販売を促進します。
 - ・有機農場の生物多様性保全により、自然共生サイトの認定を取得します。
- 継続的な森林再生活動を実施し、劣化した森林を回復させ山地生態系の保全を図り、生物多様性に貢献します。
 - ・陸前高田市など自治体と協定を結び、持続的な森林保全と生物多様性の保全活動を行い、2029年までに自然共生サイトの認定を取得します。

4 持続可能な社会の構築を目指し、社内外でSDGs達成のための教育を推進します。



- 全従業員がSDGsの取り組みを理解し、SDGs行動宣言することで持続可能な社会構築を推進し、参加率100%を達成します。
 - ・マイバッグ、マイボトル、マイ箸・マイカトラリー持参し、その証として胸にSDGsバッジを付けます。
 - ・事業活動においては関係する取引先、お客様、地域社会とパートナーシップでSDGsの達成を目指します。
- 社会貢献や森林保全活動に取り組むため、ボランティア活動や「ワタミの森づくり」の活動を促し、社会貢献・森林保全活動に取り組む公益団体（NPO法人等）と連携を図り、従業員ならびに一般市民に対して持続可能なライフスタイルを提案し、参加者3,000名を目標とします。
- 次世代を生きる子ども達に、持続可能な社会構築のための教育を行います。
 - ・小学生を対象として実施しているわたみ自然学校やワタミファームでの環境教育・食育活動など、将来を担う子ども達に対してESDを踏まえた環境教育を実施します。

ワタミグループは、上記の取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。